

共に創り、共に歩む

Leap to the Future

Leap to the Future

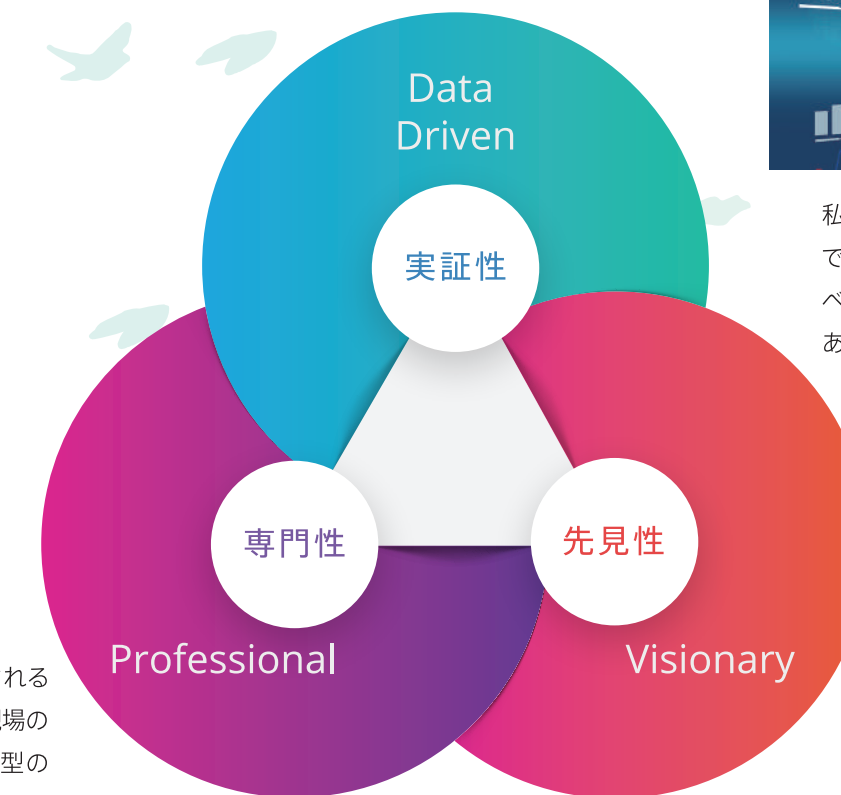
あした 未来を創造する、医療の現場から

私たちは医療機関が地域の
あした
「未来」をまもるためカイゼンを超えた
「Leap(=飛躍)」を支援します。

経営にかかわる膨大なデータを徹底的に分析し(実証性)、
医療政策の先をよみ(先見性)、
現場の医療スタッフと共に汗を流し(専門性)、
医療現場から病院を、地域を、そして日本を変えていくお手伝いをします。



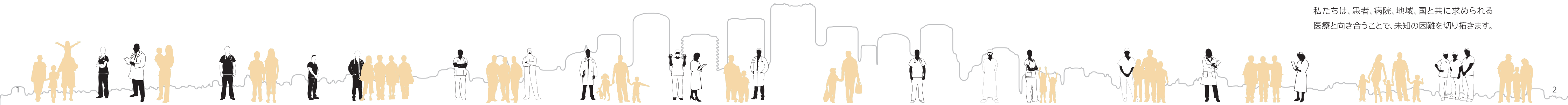
私たちは、医師、看護師、薬剤師などで構成される
医療の現場を知るコンサルタントとして、医療現場の
当事者意識でカイゼンと向き合う「実行支援型の
サービス」を提供します。



私たちは、ベンチマークを起点とした「実証分析」
で課題の本質を見つけ可視化します。病院は
ベンチマークによる自院の「立ち位置」から、
あるべき姿へとカイゼンを進めることができます。



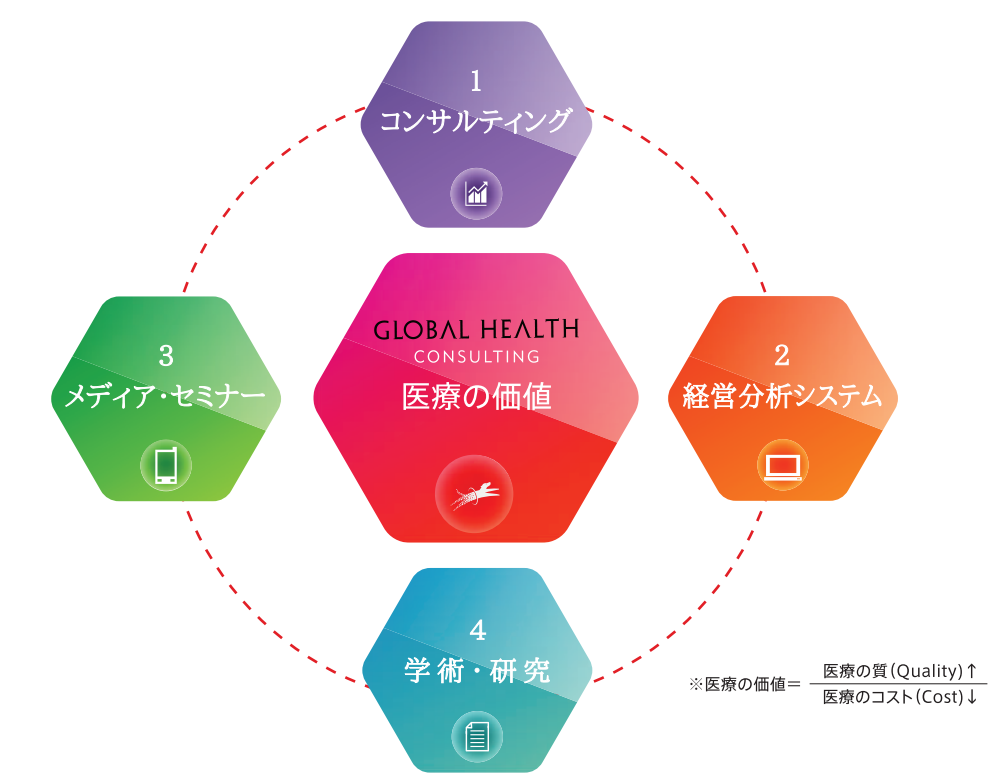
「変化はコントロールできない。できることは、
その先頭に立つことだけである」
(経営学の父ドラッカー)
私たちは、患者、病院、地域、国と共に求められる
医療と向き合うことで、未知の困難を切り拓きます。



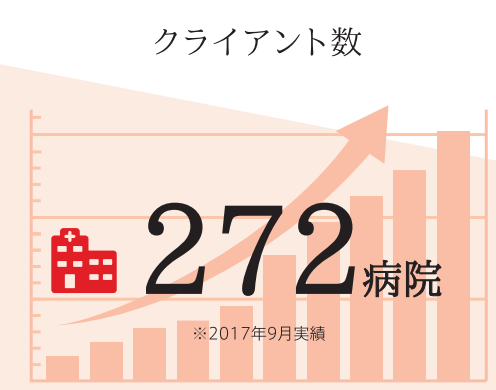


急性期病院の 「医療の価値」を向上させる 4つの事業

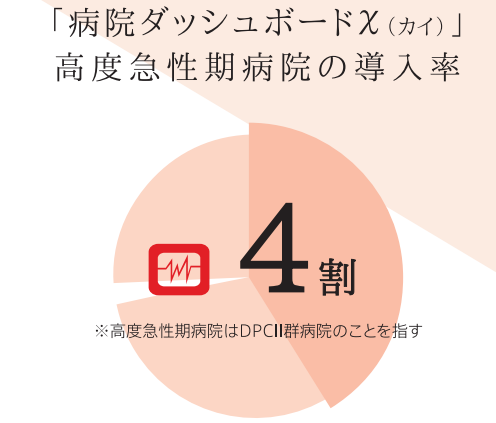
- ①医療ビッグデータを駆使し、医療の現場を熟知したコンサルタントによる実行支援型のコンサルティング
 - ②コンサルティングノウハウを凝縮させた経営分析システム
 - ③政策と病院経営に特化したメディア・セミナー
 - ④国内外の最新情報に基づく学術研究
- 実証性、専門性、先見性に基づく4つの主力事業で、急性期病院の「医療の価値」を向上させます



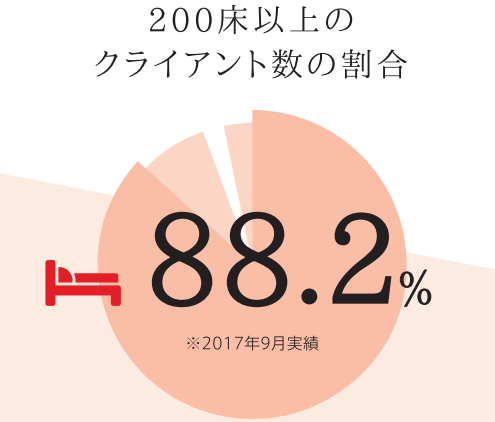
10年間でクライアント数は
約10倍に増加



基幹病院の支援を
経営分析システムでも



主に地域の基幹病院を
サポートしています



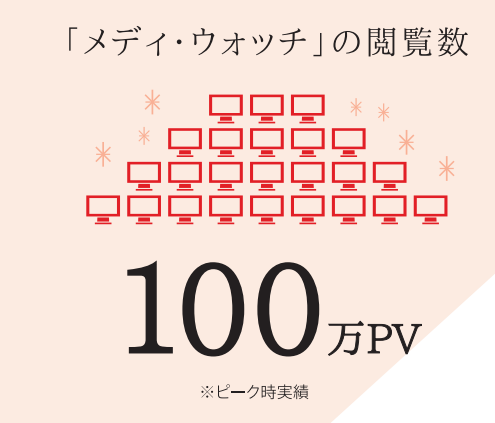
DPC病院シェアトップの
DPC分析ベンチマークシステム



Leap(飛躍)する実行支援型
コンサルティング



病院経営のプロが
認めるメディア



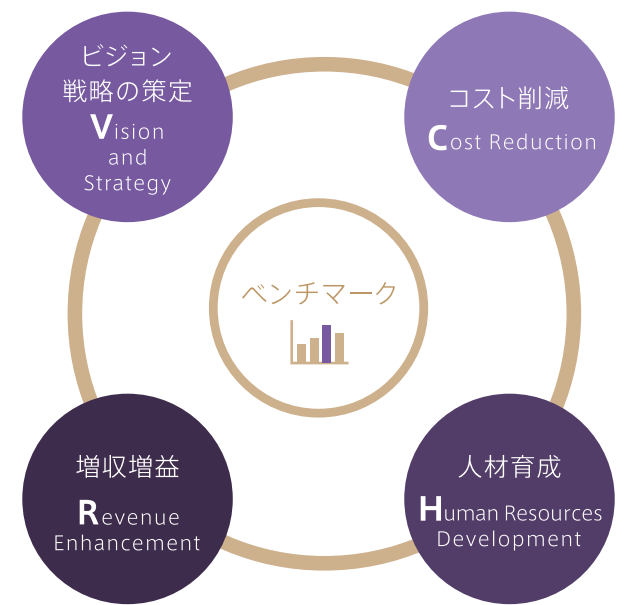


進化し続けるベンチマーク分析

1 コンサルティング

GHCは、米国流の病院経営改善の実践的な手法である「ベンチマーク」を日本に初めて導入しました。
めまぐるしく変わる医療環境の未来をみすえ、病院の経営に資する革新的なサービスの開発と提供に努め進化し続けます。

GHCのコンサルティングは、ベンチマークを中心に4つの要素から成り立っています。



サービス名／病院のメリット・効果	V	R	C	H
地域医療構想下の病床機能戦略	●	●		
病院統合再編	●			
集患・地域連携	●	●		
PFM(入退院サポートセンター開設など)	●	●	●	
病床管理		●	●	
医療・看護必要度の重症度割合適正化		●		
診療科パスアセスメント	●	●	●	
チーム医療向上(加算)		●		
手術室効率性カイゼン		●	●	
材料コスト削減			●	
委託コスト削減			●	
経営分析トレーニング				●

共に Leap(飛躍)してきた クライアント病院

多様な病院のニーズに合った
経営改善を実現
継続年数の長さは、満足と信頼の証
コンサルティング初年度から
改善効果を実感

社会医療法人財団
慈泉会 **相澤病院**

長野県松本市
病床数 460 床
継続年数 16 年

リハビリ・病床機能に関する研究支援

ポイントと効果

- 手術室運用改善で手術件数が800件増加
- 早期リハビリが患者の「医療の質」に与える影響を分析
- 病床機能に関する共同研究が地域医療構想で採用

最高経営責任者
相澤孝夫先生

社会福祉法人恩賜財団済生会支部
福岡県済生会 **福岡総合病院**

福岡県福岡市
病床数 380 床
継続年数 9 年

手術室改善・地域連携

ポイントと効果

- データ分析で手術室の稼働率80%
- 地域連携の強化で紹介率81.5%
- 救命救急隊と関係再構築、対応病床62床

総長・名誉院長
岡留健一郎先生

足利赤十字病院
栃木県足利市 / 病床数 555 床

地域連携・分析訓練

ポイントと効果

- 診療科別バス改善(医療資源投入金額など)
- “病院職員自ら”がデータを活用した分析体制の構築
- 医療連携状況の可視化および連携室体制の構築

三豊総合病院
香川県観音寺市 / 病床数 478 床

機能分化

ポイントと効果

- 地域医療を見据えた病院の5年マスタープランを作成
- 地域包括ケア病棟の疾患別病床管理方法を提案
- 機能分化の促進に成功

小牧市民病院

愛知県小牧市
病床数 558 床
継続年数 10 年

DPC 関連支援

ポイントと効果

- 年間約4億円の改善効果を達成
- 1年間で入院期間11超の患者が5%減少
- 急性期機能を充実させ1日単価7000円向上

小牧市民病院事業管理者
末永裕之先生

諏訪中央病院

長野県茅野市
病床数 360 床
継続年数 6 年

コストマネジメント

ポイントと効果

- 多職種の経営戦略室創設を実現
- DPC対応により1年間で4200万円の改善を達成
- 院内全体の改善風土を醸成

院長
吉澤徹先生

旭川赤十字病院

北海道旭川市
病床数 520 床
継続年数 10 年

コストマネジメント

ポイントと効果

- ベンチマークで自院を的確に分析
- 半年で4500万円の材料コスト削減を実現
- 約12億円利益増に成功

院長
牧野憲一先生

愛媛県立中央病院
愛媛県松山市 / 病床数 827 床

機能分化

ポイントと効果

- 県立中央病院としてあるべき病床数をシミュレーション
- 将来の医療需要を基に成長分野と削減分野を予測
- 基礎係数分析から在院日数を短縮できる疾患を特定

東京医科大学病院
東京都新宿区 / 病床数 1,015 床

診療科別ヒアリング

ポイントと効果

- 4診療科で1年間に換算して7900万円分の増収
- DPCの仕組みを大学病院内へ周知
- 各診療科の医師のデータを見る目が激変

※継続があった年の継続年数になります。相澤病院は、グローバルヘルスコンサルティング米国からのクライアントになります。



データとITは医療改革を支える両輪



世界最先端の医療を提供する米国の医療改革は、IT革命から始まりました。大量の医療ビッグデータを、スピーディーに、エレガントに使いこなすには、ITの存在は欠かせません。GHCでは、IT技術を駆使し、コンサルティング手法を凝縮させた問題解決型「経営分析システム」を提供しています。

高度急性期病院のための
～4割が導入する経営支援ツール～

 **病院ダッシュボードX** <http://dashboard.ghc-j.com>

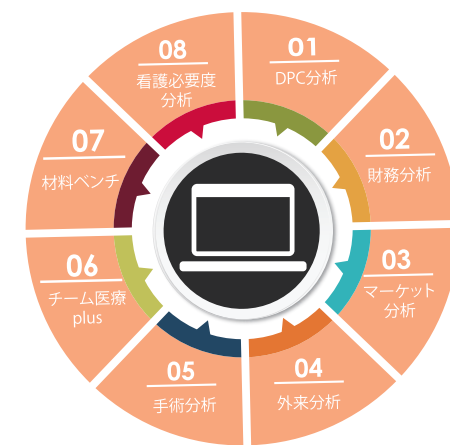
「病院ダッシュボードX」は「病院ダッシュボード」をさらに、早く、使いやすくした、経営カイゼンのポイントが瞬時に分かる、多機能・問題解決・実行支援型の経営分析システムです。

充実の分析機能

- ・コンサルティングノウハウを凝縮
- ・院内情報の可視化
- ・独自のベンチマーク分析

使いこなせる環境

- ・充実したサポート体制
- ・お客様満足を追求
- ・コンサルタントと連携した支援
- ・経営課題解決型ユーザ会を定期的に開催

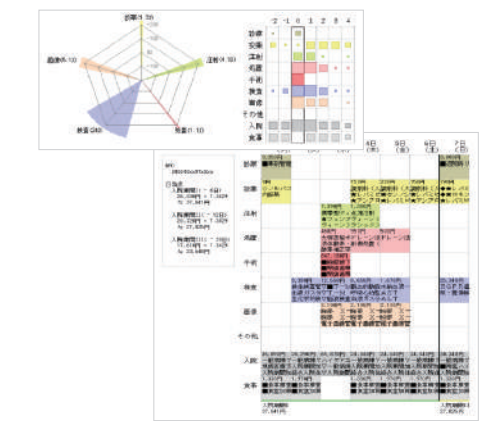


「病院ダッシュボードX」でLeap(飛躍)した成功者たち

	病院名	感想と活用ポイント
1	広島赤十字・原爆病院	分析の効率化に貢献
2	旭川赤十字病院	使いやすいマーケット分析で集患対策を推進
3	松阪市民病院	素人でも使いやすい優秀なシステム
4	聖フランシスコ病院	パス作成評価への活用 チーム医療を推進
5	社会医療法人 生会 府中病院	DPC II 群へのステップアップに貢献
6	済生会福岡総合病院	II 群維持に大活躍
7	さいたま赤十字病院	外来分析で逆紹介推進やパス改善に活用
8	岩手県立中央病院	無駄のない深い分析へ誘導してくれるツール
9	佐賀県医療センター好生館	短い分析工数で課題を解決
10	福岡赤十字病院	病床機能再編を推進
11	埼玉石会病院	目の前の課題を発見し、将来像を模索
12	社会医療法人財団大樹会 総合病院 回生病院	地域包括ケア新設に入院短縮の糸口

DPC 分析 ベンチマークシステム

EVE



日本初のベンチマークシステム
の思想を受け継ぎ、DPC
対象病院の約半数が導入
する DPC 分析ベンチマーク
システム。
さまざまな切り口で重要な
経営指標を把握できます。
※EVE は MDV 社との
共同開発商品

<http://www.ghc-j.com/it/it.html>

経営と医療の質を見える化する 月刊レポート

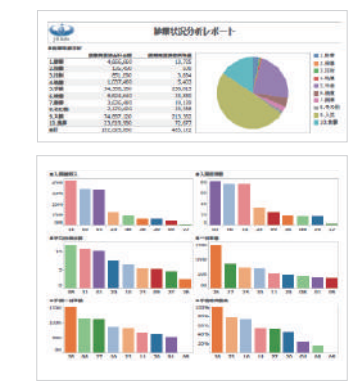


医療現場を知るコンサルタントが、ベンチ
マーク分析を活用し、あらゆる角度から病院
経営を分析する WEB 閲覧できる月刊レポート
です。
病院ダッシュボードおよび EVE ユーザは
特典として無料で購読いただけます。

【媒体概要】
▶配信日：毎月 10 日

<https://journal.medwatch.jp/>

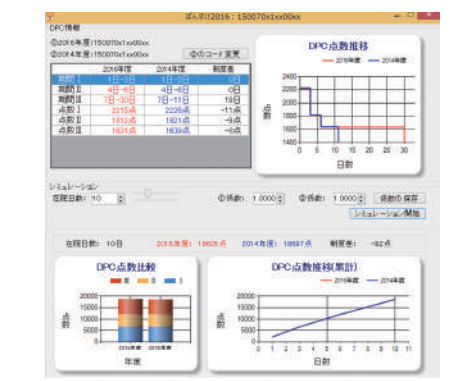
出来高病院向け日本病院会 戦略情報システム



日本病院会が出来高病院向けに提供
している、経営分析に関するレポート
です。
GHCでは、「JHAstis」のシステム開発
のほか、分析レポートのサポートなど
を行っています。
分析レポートでは、主要経営指標や
加算算定状況が毎月わかるベンチマーク
分析やリハビリの分析情報、診療報酬
改定情報など、出来高病院に役立つ
情報を掲載しています。

<http://www.hospital.or.jp/jhastis/>

DPC/DPDS 検索ツール



DPC/DPDS の新・旧制度を
比較することができる分析
ツール（無償で誰でもご利用
いただけます）。
非ネット環境でも利用でき、
面倒な診療報酬の計算が
ポンポンできます。

<http://www.ghc-j.com/it/ponsuke.html>



変 化 の 先 頭 に 立 て

病院経営の変化の先頭に立つために必要な情報を、
GHCは独自のメディアや各種セミナーを通じてご提供します。



トップランナーと創造する医療の未来

GHCは国内外のトップランナーとの学術・研究活動や、
社会貢献活動、最新の研究を反映させた新規事業構築などにも注力しています。

MedWatch



病院経営に携わるすべての人たちに向け、どこよりも早く、正確で、専門的なニュースをお届けする、医療系ニュースサイトとメールマガジン。



【媒体概要】 ▶ 配 信 日：ニュースサイト・毎営業日 メールマガジン・週刊（営業日のある週初）
▶ 編集主幹：鳥海和樹

<http://www.medwatch.jp/>

GHC Seminar



国内外のオピニオンリーダーによる講演や診療報酬改定の最新情報など、多様な切り口で病院経営に有用なセミナーを開催

<http://www.ghc-j.com/event/seminar>

書籍案内



日本人が知らない 日本医療の真実 著者：アキよしかわ 発行年：2010年 出版社：幻冬舎MC	“患者思い”の病院が、 なぜつぶれるのか？ 著者：渡辺さちこ 発行年：2009年 出版社：幻冬舎MC	日本医療 クライシス 著者：渡辺さちこ アキよしかわ 共著 発行年：2015年 出版社：幻冬舎MC	日米 がん格差 「医療の質」と「コスト」の経済学 著者：アキよしかわ 発行年：2017年 出版社：講談社
--	--	--	---

国 内

全国のがん診療連携拠点病院が集う「CQI 研究会（Cancer Quality Initiative）」、回復期医療の研究会「回復期の医療と経営の質向上を考える会」のほか、自治体病院によるベンチマーク勉強会（ToCoM（※）：東海地区、DoCoM（※）：北海道地区、せや CoM（※）：大阪地区）など、国内医療機関の事業や研究活動をサポートします。

※文中の「CoM」は「コンソーシアム」を表します。



海 外

GHCの原点は、医療経済学のメッカ「スタンフォード大学」。GHCは設立当初から、米国の大学やメイヨークリニックなどの医療機関と医療政策の共同研究をはじめ、米国の病院経営を研究し新規コンサルティングサービスの開発にも役立てています。





日本初の病院ベンチマーク分析から始まり、医療制度の先を

走り続けた挑戦と進化の軌跡

患者にとって価値の高い医療を提供するために、医療現場は何をすべきか—創立当初からのこの追及が、国の先行く取り組みや診療報酬上での評価へとつながりました。

GHCの軌跡

2004 March

株式会社グローバルヘルスコンサルティング・ジャパン (GHC-J)設立



2004 May

日本初のベンチマークシステム「DAVE」リリース

2004 October

全国社会保険協会連合会との調査研究事業スタート

2003

特定機能病院を対象に、現行のDPC/PDPSが導入され、その後急性期病院に拡大

1998

国立病院等10病院で1入院当たりの急性期入院医療包括払い制度が試行を実施(日本版DRG)

DPCベンチマーク分析システム「EVE」リリース(MDV社との共同開発)



2006 August

2007 April

DPCコスト分析システム「コストマトリックス」リリース(MDV社との共同開発)



2007 December

CQI研究会(Cancer Quality Initiative) 第1回会合開催



2009 July

「看護必要度に関する研究」開始(滋賀医科大学医学部付属病院看護部と共同研究)

2008 June

ToCoM(東海地区自治体コンソーシアム) 第1回会合開催

2008

「一般病棟用の重症度・看護必要度に係る評価表」を用いた看護必要度の評価が7対1入院基本料の算定要件になる

2009

DPC/PDPS対象病院数が1000病院(1287病院)を超える

米国スタンフォード大学と共同研究

2012 May

2011 April

次世代型経営支援サービス「病院ダッシュボード」をリリース



2010 January

DoCoM(北海道地区自治体病院コンソーシアム) 第1回会合開催

2010

「機能評価係数II」が導入される

せや CoM(大阪周辺自治体病院コンソーシアム) 第1回会合開催

2014 December

2013 February

米国メイヨークリニックと共同研究



2013 December

内科系学会社会保険連合の「内科系技術についての診療報酬評価に関する提案ver.1」に関わる分析協力

2012

医療機関群や点数設定方式D(隠れDRG)が導入される

クイーンズメディカルセンター研修



2015 February

2016 March

日本病院会と業務提携し、出来高病院向け経営支援レポート「JHAstis」開発



2016 June

「病院スコープβ版」をリリース



2016

「重症度、医療看護必要度」のHファイルの提出がデータ提出加算の算定要件になる

「特定内科診療(2014年度版)」で定められた技術の実施が医療機関群II群の実績要件になる

2017 June

「回復期の医療と経営の質向上を考える会」第1回会合開催



2017 December

「病院ダッシュボードX」リリース



1995

アキよしかわが米国グローバルヘルスコンサルティング(米国GHC)設立

GHCの事業と関連が深い医療制度

※GHCの取り組みと関連が深い医療制度は、同色の豆電球のアイコンがついています。



病院淘汰の時代、健全な競争が医療の質を高めます

Mission

医療と経営の質向上に全知を 傾け、医療の発展に寄与する

Vision

常に革新的なサービスを開発し、
国民と地域を守る「ビジョナリー・ホスピタル」の進化・発展(Leap)に貢献する

病院も選ばれる時代になっています。選ばれるために必要な要素は、当然、質の高い医療を提供すること。しかし、その病院が元気でなくては、患者と患者家族を元気にすることはできません。

No Margin, No Mission—利益なくして、果たせる使命なし。

G H C は病院経営者の良きパートナーとして日本の医療の未来に向けて目標を一つにし、「医療の質」と「経営の質」向上に資するビッグデータの解析を活かし、病院のため、ひいては、その先に存在する患者と地域住民のために、最大の価値を提供することをめざしております。

株式会社グローバルヘルスコンサルティング・ジャパン
代表取締役社長 渡辺幸子

慶應義塾大学経済学部卒、米国ミシガン大学で医療経営学、応用経済学の2つの修士号を取得。

帰国後、2003年より米国グローバルヘルスコンサルティングのパートナーに就任。

2004年3月グローバルヘルスコンサルティング・ジャパンを設立。

著書に『“患者思い”の病院が、なぜつぶれるのか?』(幻冬舎MC)

『日本医療クライシス「2025年問題」へのカウントダウンが始まった』(幻冬舎MC)。

Sadako Watanabe

DPCの到来とともに日本の病院は、生き残りをかけた淘汰の時代に突入しています。そこでは、健全な切磋琢磨によって、効率化を進め、医療の質を高めた病院のみが、競争に勝ち残ることができます。

私は、こうした「競争」こそが医療の質を高めると考えています。また病院は、そうした努力と結果を消費者、つまり患者と患者の家族に対して、積極的に発信していく必要があります。

私は、病院経営のコンサルティングを通して、誰もが日本全国どこでも質の高い医療を選べるような世の中を実現したいと考えています。

米国グローバルヘルスコンサルティング
会長 アキよしかわ

がんサバイバーの国際医療経済学者、データサイエンティスト。

10代で単身渡米し、医療経済学を学んだ後、カリフォルニア大学バークレー校とスタンフォード大学で教鞭を執り、スタンフォード大学で医療政策部を設立する。米国議会技術評価局(U.S. Office of Technology Assessment)

などのアドバイザーを務め、欧米、アジア地域で数多くの病院の経営分析をした後、日本の医療界に「ベンチマーク分析」を広めたことで知られる。近著に『日米がん格差「医療の質」と「コスト」の経済学』(講談社)。

Aki Yoshikawa

病院のよきパートナーとして、誠実に、最大の価値を提供します



会 社 概 要

会社名	株式会社グローバルヘルスコンサルティング・ジャパン
所在地	〒160-0022 東京都新宿区新宿六丁目27-30 新宿イーストサイドスクエア5F
代表者	渡辺幸子
TEL	03-6380-2401 (代表)
FAX	03-6380-2402
URL	www.ghc-j.com
Mail	info@ghc-j.com